

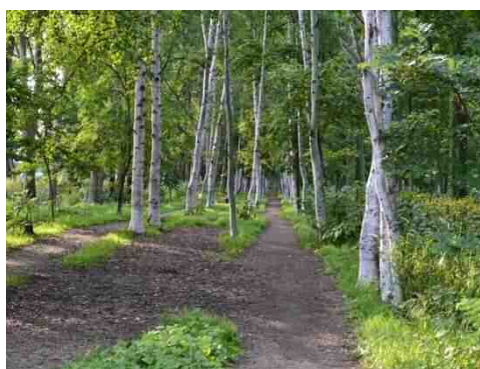
ぼぶらどおり とんでんぼうふうりん
ポプラ通り（屯田防風林）

【景観上の特徴】

さっぽろを空から見たときにも、くっきり緑の帯として見えるこの緑地は、農地を厳しい風から守るための防風林として大正時代に植樹されたのが始まりとされており、開拓の足跡を感じることでできる貴重な景観資源です。

ポプラ通りとして平成10年には現在の形に整備され、住宅地のなかで、樹齢100年を越すポプラの大木や、都心部では見かけることが少なくなったオオウバユリの群生地など、濃い緑陰のなかにめずらしい草花と出会える自然豊かな憩い・散策の場として多くの人に親しまれているほか、地域住民等が特定外来生物の駆除作業やパトロール活動を行うなど、その保全に努めています。

このことから、石狩平野開拓の農耕史を物語る耕地防風林として、まちの成り立ちを物語る景観特性は、「地域の個性が際立ち、多彩な輝きを放つ景観づくり」をあらわすものであり、また、自然環境の保全による「生態系」に配慮した景観形成に寄与する活動などが行われていることから、「多様なつながり、持続的に取組を重ねる景観づくり」をあらわしています。



登録年月日	平成31年（2019年）3月29日
所在地	札幌市北区屯田および新琴似
連絡・ 問い合わせ先	連絡先名：札幌市北区土木部（北区土木センター） TEL：011-771-4211
URL・資料	
備考	・林内には老齢木が多くあるため、強風時には木が倒れたり、高いところから枝が落ちてくる危険性があります。強風時には林内に立ち入らないでください。 ・林内には市街地で見ることが少なくなった植物が自生しており、様々な花を楽しむことができます。この貴重な環境を守るため、林内の植物を採取して持ち帰ることはやめましょう。 ・林内の通路には幅の狭い箇所がたくさんあります。自転車と歩行者の衝突事故を防止するため、自転車を押して歩くなど、歩行者への安全配慮をお願いします。 ・美観を損ねるだけでなく、火災の原因にもなるため、タバコのポイ捨ては絶対にやめましょう。

平成31年（2019年）3月時点

ポプラ通り(屯田防風林)

位置図

